

専門基礎分野 授業計画

授業科目及び時間数	総合医療論 1単位 15時間		
開講時期	1年次 後期		
担当教員	石山純三・深澤邦俊	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>保健医療・看護の歴史、現状を知り、直面する現代の医療の課題をさまざまな論点や新しい視点で学ぶ。これから看護学を学ぼうとする皆さんが、幅広い視野を持ち新時代に求められる看護師像について考えられるきっかけとなることをのぞむ。</p> <p>また、科学的根拠に基づいて行われる医療の特徴を活用し、人々の健康を守り増進するためには、医療職が共通の知識をもって検討することが求められる。その1つが臨床検査である。医療の現場で活躍する看護師にも臨床検査の意義や目的を理解しデータの解釈につなげる基礎力の育成ができることをねらいとする。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 医療と看護の原点 1) 命について考える 2) 健康とは	講義 (石山)	
2回目	3) 病の体験 4) 癒しの行為と癒しの地 5) チーム医療とマネジメント 2. 医療の歩みと医療官の変遷 3. 私たちの生活と健康 1) もし私たちが病気やけがをしたら	講義 (石山)	
3回目	2) 私たちの生活と環境衛生・保健・福祉行政 3) 疾病の一次予防と健康増進 4) 少子高齢化社会と世代間のきずな 5) 障害者のノーマイゼーション 6) 心の健康と精神医療 4. 科学技術の進歩と現代医療の最前線	講義 (石山)	
4回目	5. 現代医療の新たな課題	講義 (石山)	
5回目	6. 医療を見つめ直す新しい視点 7. 保健・医療・福祉の潮流	講義 (石山)	
6回目	1. 臨床検査について (概論)	講義 (深澤)	
7回目	1. 臨床検査について (各論)	講義 (深澤)	
8回目	1. 臨床検査の実際	講義 (深澤)	
評価方法	終了試験 筆記 100% : 石山 (70%) 深澤 (30%)		
受講生に対するメッセージ	主体的に講義にのぞんでほしい。		
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野健康支援と社会保障制度[1] 総合医療論 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床検査 医学書院		
参考書			